

『災害に強い安全・安心なまち足利』の実現のために

中橋、架替えます

都市計画課・☎202167

架替えのイメージ

7月31日(金)、国土交通省関東地方整備局河川部長、栃木県県土整備部長、足利市長の三者で組織される『渡良瀬川中橋架替に関する連絡協議会』を開催し、整備方針が合意され、中橋架替えのイメージ図を公表しました。



▲中橋架替えイメージ

水防上の危険性

中橋は昭和11年に架橋された、三連アーチが足利市を代表する景観として定着した美しい橋です。

一方、中橋付近の堤防は周辺より低く切り込んでおり、以前から浸水被害の危険性が問題に。令和元年東日本台風の際には渡良瀬川の水位上昇に加え、草木ダム管理所から緊急放流の連絡が入ったため、切り込んだ堤防に大型土のうを設置し、浸水被害の防止に努めました。

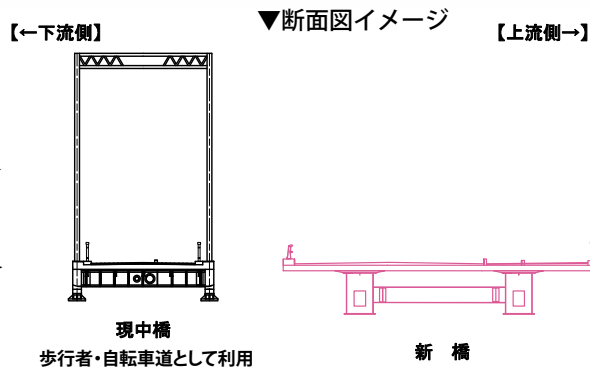
今後の取り組み

中橋の架替えは、災害に強いまちづくりのみならず、新たなまちづくりのツールとして捉え、市中心部の活性化にもつなげていく考えです。

今後は、関係する皆さまのご意見もしっかりと伺いながら、早期の事業化に向けて取り組んでまいります。

整備方針

- ▷中橋付近の堤防をかさ上げする。
- ▷かさ上げに伴い、中橋を架替える。
- ▷架替えに際し、現中橋の三連アーチを下流側にスライドし、歩行者・自転車の通行空間として再利用する。
- ▷三連アーチの上流側に、車道を中心とした新しい橋を設置する。



中橋架替えに関する説明会

日時・会場

- ①10月13日(火)=足利商工会議所友愛会館 1階友愛ホール
- ②10月14日(水)=栃木県南地域地場産業振興センター1階大ホール(田中町)
- ※午後6時30分開始。
- ※両会場ともに駐車台数に限りがあります。
- ※両日ともに同内容の説明となります。

都市計画課・☎202167

内容

- ▷中橋架替えなどに関する計画概要について
- ▷都市計画道路家富町堀込線などの都市計画変更について

定員

- ①80名②100名
- ※先着順。受付は午後6時から。



※詳細は市ホームページをご確認ください。

※本号に掲載しているイベントなどは、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期や中止になる可能性があります。

お知らせ

ご協力ください

まちづくり市民アンケート

企画政策課・☎21103

本市の新たなまちづくりの指

針となる『第8次足利市総合計

画』策定の基礎資料とするため

市民の皆さんが思う、まちの将

来像などをお聴きします。

対象 18歳以上の無作為抽出に

よる市民3000人

調査期間 10月14日(水)～30日(金)

調査方法 郵送

※アンケート用紙が届いた方は
回答をご記入のうえ、同封の返
信用封筒で返送してください。

宝くじの助成金
活用しています

市民生活課・☎21150

宝くじの助成金で、福居和泉

町自治会活動で使用する模擬店

機器や音響機器などを整備しま

した。これにより、

地域の活動が一層

活発になることが

期待されます。



まちづくりに対する意見を届けよう!
第8次足利市総合計画策定に向けた

まちづくりパネル展

企画政策課・☎21103

まちづくりパネル展とは…パネル展示で
市の現状や課題、総合計画の概要など
について説明し、まちづくりに対する
意見を皆さんに直接伺う展示会です。

日時・会場

▷10月27日(火)～29日(木)／午前9時～午
後5時＝市役所1階市民ホール

▷10月31日(土)、11月1日(日)／午前10時
～午後6時＝コムファースト・ショッピング
センター(アピタ足利店)1階コムコム広場

※参加自由、申し込み不要。

子育てのこと、
防災のこと、福祉のこと、
みなさんのご意見
待ってます!

コムファーストにはたかうじ君もやってきます!



至誠 通天

市長コラム
No.082



和泉 聡

もうひとりの自分

映画『Wの悲劇』を最近、DV
Dで見返しました。私が大学生
のころ、高田馬場の映画館で封
切りを見て以来、20回以上見ま
した。薬師丸ひろ子さんの初々
しい演技は何度見ても印象的で
すが、この作品を貫いている主
題のひとつが『自分を見つめて
いるもうひとりの自分』です。

ラストシーンで薬師丸さんが
世良公則さんに「自分をみつめ
ているもうひとりの自分って厄
介だけど、私は付き合っていく
わ」と語りかける場面は、21歳
だった私の脳裏に強烈に焼き付
きました。

自分が独りよがりには陥らない
ように、少し離れたところから、
常に自分を見つめているもうひ
とりの自分を持つていたい。私
はこの映画を見て以来、いつも
心の中で、そう言い聞かせなが
ら生きてきました。
ある物事に直面したとき、自

分はこう思うけど、きつと世の
中にはまったく異なった考え方
をする人もいるのだから、と思
える想像力を失わないでいた
い。『もうひとりの自分』が強
さると、他人の目ばかりを気に
することになり、自分を失うこ
とになりかねないという懸念は
ある。しかしそれでも私は、独
りよがりにならないために、も
うひとりの自分をしっかりと持
つことを大切にしたい。

そんなことを思っていたら、
偶然、ある市民から『離見の見』
という言葉を教わりました。『世
阿弥の能楽論で、自分の姿を距
離をおいて観察すること。演者
が主観を離れて観客の立場で自
分の姿を見ること』(『日本国語大
辞典、小学館』。まさに、もう
ひとりの自分を持つことです。

自説を大上段に振りかざし、
正しいのは自分だと言わんばか
りに、他人の批判を声高に展開
する。そんな場面に出くわすた
びに私は『離見の見』もうひと
りの自分』を思い出し、自分の
足元を点検していきたくと思っ
ています。

Pick Up!

お知らせ

税

福

祉

募

集

子

育

て

健

康

働

く

講

座

教

室

イ

ベ

ン

ト

相

談